

環境を汚さない地域社会の形成に向けて… 日光水素エネルギー社会 促進協議会が発足しました。

写真：ラムサール条約に登録された戦場ヶ原には、季節を問わず多くの人がハイキングなどに訪れます。

環境都市・日光市を目指して

日光市は、ラムサール条約に登録された戦場ヶ原などの奥日光の湿原をはじめ、豊かな自然に恵まれています。また、世界遺産に登録された二社一寺などの歴史的建造物を有した国際観光都市です。

私たちにはこの雄大な自然を守り、次代に残す責任があります。また多くの観光客に快適な観光を楽しんでもらうため、すべての人に優しい交通手段の確保が求められています。

市は自然と人に優しい環境都市として、環境に配慮したシステムの構築を目指さなければなりません。その取り組みの一つとして、8月8日(火)に日光水素エネルギー社会促進協議会を設立しました。この協議会は、石油やガスなどに代わる、環境に優しい次世代エネルギーとして注目される水素エネルギーの普及・活用について協議するものです。協議会には市長の呼びかけにより、県、日光商工会議所、燃料電池・車両開発メーカーなど13社が参加しています。

水素エネルギーとは

私たちが使用する電力やガソリン、ガスなどのエネルギーの多くは、石油などの限りある資源から作られています。この限りある資源に代わる新たなエネルギーとして、現在、風力や太陽熱などの自然エネルギーの活用が進められています。これらは環境に優しい